

修了生の活躍事例

ポリテクで楽しく学んで、実力がついた。 溶接はスリリング！

前職は光ファイバー製造会社で検査業務を担当していましたが、パート社員で不安定であったため、正社員として勤務をしたいと考えるようになりました。ハローワークに相談に行ったときにポリテクセンターに通って、しっかりと技術を身に付けたほうが良いと勧めていただきました。

実家が製造業の自営をしており、幼いころからものづくりの現場はよく見ていました。その中でも溶接作業がカッコよく見えて、いつかやってみたくて思っていましたので、テクニカルメタルワーク科を受講することに決めました。

クラスの雰囲気良く、和気あいあいとした中で楽しく学ぶことが出来ました。理論的、体系的に指導していただき、毎日、知識が増えて、技能が上達し、実力がついてるのが目に見えてわかってモチベーションが上がりました。自分の操作次第でうまくいったり、いかなかったりと結果が自分の腕にかかっているところがスリリングでした。最初はうまくできなくてくやしかったですが、課題をこなし、指導を受けている中でカンコツのつかみ方が分かり、きれいな溶接ができるようになり、より楽しくなりました。

株式会社大和鉄工所 九州工場

H. R さん(28)

前職：光ファイバー製造の検査業務
(パート)

テクニカルメタルワーク科

令和4年4月 入所
令和4年9月 修了



H. Rさん製作

自己肯定感と習得意欲がアップ↑

半年間、集中して知識と技能の習得に努めることができるのは貴重な経験になると思います。毎日勉強であり、充実した期間になりました。スキル不足を感じていた自分ですが、溶接を学んで、仕事に就いて、製品を作ることができているということで、自分もやればできるんだ、これからもできることをどんどん増やしていくんだという、自己肯定感と知識・技能の習得意欲が上がりました。テクニカルメタルワーク科を受講してよかったと実感しています。また、女性の私もいろいろチャレンジすれば、道が開けるという性別については壁はないということも改めて分かりました。

溶接という仕事は日常生活ではあまり目にすることはありませんが、ものづくりに欠かすことのできない技術です。溶接に興味を持っていただき、チャレンジして欲しいです。

就職先企業での活躍

H. Rさんの業務

マンホールや水槽のステンレス製人孔蓋や通風筒等の製作を行っています。わからないところは教えてもらっていますが、図面を見て、材料を発注し、切断、曲げ、組立、溶接、仕上げと一連の流れを一人でこなしています。ものづくりの達成感とやりがいを感じる事が出来ます。溶接の資格についてもチャレンジしています。



採用者の声 管理部 部長 瀧川 真志様

ポリテクセンターの修了生は基本知識や技能を身に付けているので、仕事を教えやすいし、上達も早いです。技能習得にも意欲的で向上心があると思います。現在、3名勤務していますが、全員、まじめにこつこつと仕事をこなしてくれています。当工場の製造部門の中心となっています。



株式会社大和鉄工所 九州工場 (熊本県合志市) 現在ポリテクセンターの修了生3名が活躍

社会・農業基盤整備事業における上水道工事、農工業用水特殊弁の専門メーカーとして、安全・安心・継続を元に信頼を得ることを使命としている。特殊弁・ステンレス製製品の設計・製作をしており、業界随一の技術力を誇っている。九州工場では主にステンレス製の製作金物の製作を行う。

(製品例)

- ・ステンレス製人孔蓋
- ・ステンレス製通風塔
- ・開閉台・階段手すり・安全柵・大型蓋

